

スリーハート

第2号 平成28年 6月 1日(水) 発行

早いもので新しい年度に入り2か月が過ぎてしまいました。
その間に、6年生の修学旅行、5年生の野外活動、陸上競技会などの行事もありました。私も引率で修学旅行にいきました。こんなことで心が温くなりました。それは、二条城の見学が終わり外に出ようとしたとき、かなりの雨が降っていて出口が西小の児童で混雑していました。そこへ高齢のご夫婦がきて靴を取ろうとしたとき、西小の女の子が優しく「お先にどうぞ」と言って道をあけていました。後で、そのご夫婦が私に「とてもいい児童さんたちですね。雨の中、京都に来て気持ちがどんよりしていましたが、いっきに心が晴れました」と言ってくれました。私もたいへん嬉しかったです。

校外に出ると違った人ともふれあい、多くのことを勉強することができます。今後も西小は校外での学習の機会を大切にしていきたいと思っています。ご負担をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いします。
(校長 恒川則明)

古都の歴史を感じて

5月10日(火)～11日(水)

6年生61名が、京都・奈良へ修学旅行に出かけました。社会科で歴史を勉強する6年生にとって、生きた教材の宝庫で、多くのことを見聞きし、今後の学習に生かしてくれることでしょう。

心配された雨の影響もほとんどありませんでした。まず、修繕を終えた宇治の平等院に感動し、清水寺では、湯豆腐の昼食を楽しんだ後、舞台の高さにびっくりしていました。さらに、大政奉還の場・二条城と足利幕府の繁栄の象徴・金閣寺も見学しました。さらに夕食後には、舞妓さんの芸をみせてもらう機会も得て、盛り沢山の1日目の日程を終えました。

2日目には、奈良へ移動して東大寺を見学しました。お約束の“柱の穴くぐり”も体験し、子どもたちはとてもうれしそうでした。その後、斑鳩の里へ移動し、世界遺産・法隆寺を見学し、聖徳太子の偉大な足跡を目の当たりにしてきました。



—美しい宇治の平等院—



—湯豆腐に舌鼓—



—清水の舞台の高さにびっくり！—



—舞妓さんと思い出の一枚—



—鹿と仲良し—



—大仏殿の前で記念撮影—

5月24日(火)～25日(水)

5年生46名が、旭高原少年自然の家へ野外活動に出かけました。自然の恵に感謝する心と、互いを気遣い支え合うことの大切さを学んでくれることを願って、学校では取り入れることができない体験活動を計画しました。

旭高原元気村での五平餅やバター作り体験は、自然食材の素晴らしさを学ぶよい機会でした。矢作ダムの見学は、ダムのスケールの大きさに目を回し、電力供給の大切さを実感できる貴重な体験でした。

夜のキャンプファイヤーは、皆で親睦を深める最高の場となり、翌日の野外炊飯は、仲間と協力することを学ぶまたとない機会となりました。

清々しい高原で体験活動



— 手作りの五平餅が焼き上がり —



— 壮大な矢作ダムに目を回し —



— 美味しいカレーに思わずにっこり！ —



— 親睦を深めたキャンプファイヤー —

多くの人に支えられ



— 水禍防止看板の取替 —



— ストップマーク補修 —



— 図書ボランティアの読み聞かせ —



— 同行支援を受けて町探検 —

多くの方々が西小の教育活動をサポートしてくださっています。5月14日(土)には、PTA役員の皆さんが休日返上で、子どもたちの安全を守るために、ストップマークと水禍防止看板の補修作業をしてくださいました。

図書ボランティアの皆さんは、本に親しむ子が一人でも増えることを願って、月に2回、朝の時間に「読み聞かせ」をしてくださっています。

低学年の校外学習には、同行支援ボランティアとして、たくさんのお母さんたちが子どもたちの活動を助けてくださっています。このように、多くの方々に支えられ、子どもたちは日々健やかに成長しています。

